

発言No.

21

受付No.

7

令和 4 年 6 月 7 日
8 時 37 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 22 番

氏名牛尾昭

答弁を求めるもの

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 ゆうひパーク浜田の課題と将来展望について

過去を振り返って見ると、平成4年、春頃、ゆうひパーク浜田の社長と専務予定者が、面談をしたいと申し入れがあり、当時の経済委員会委員長と副委員長の私が応対致しました。お二人とも会議所の先輩方でした。ゆうひパーク浜田構想は、素晴らしい大構想で、障がい者雇用も含まれておりました。熱く語られる言葉の中に、民間で先んじて頑張るので、については、三セクでないとは占有出来ないのでは、出資してほしい。いや、出資すべきだとの要旨でありました。熱心な語りと強い口調に、違和感を覚えたのを、いまだに覚えています。その後、平成17年に民事再生法をめぐり、内部で争いがあり経営不振が表面化しました。平成19年6月議会で、事業再生計画に基づく市の支援策が承認され2億円の無利子融資などが実行されました。この6月議会での反対討論、賛成討論を再度読み込んでみました。反対討論では、障がい者雇用の視点が抜け落ちている。売り上げ回復が難しい。賛成討論では、島根県中小企業再生支援協議会がまとめた計画であるとのことでした。私は、議長席におりましたので採決に参加していません。次に、24年9月議会では、2億円の10年延長する補正予算が上程されており、前回反対された議員が、厳しく指摘をされ、当時の部長は、償還延期は再生計画の破綻に繋がると答弁されています。次に、私は再生機構がここまでやったし、保証人もとる、監査を入れることで賛成多数で可決したが、5年経って裏切られたと指摘をしました。再生機構の再建策の肝は、ベーカリーを呼び込むとのことでしたが、実現しませんでした。ここまでが前市長時代の流れです。今回、2億円の内3千万円が残る段階で買い取り依頼がありましたが、以下質問します。

(1) 買取依頼という課題について

- ① 先ず、市長の見解を問う。
- ② 周辺地域の整備に相当なコストがかかっているがトータルの金額を問う。
- ③ 今議会に、不動産鑑定の前算が上がっているが、耐震化を問う。

- ④現在の施設を見てみると、閉鎖している空間が多い。どの様に考えるのか。
- ⑤公共施設再配置との整合性を問う。
- ⑥一連の流れを受けて、3セクのトップの責任についての考えを問う。
- ⑦障がい者雇用についての現状認識を問う。

(2) ゆうひパークの将来性について

- ①市長の見解を問う。
- ②令和のゆうひパーク再生計画を問う。